



実施計画書

令和8年3月

第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会

目次

第1章 全体計画	1 全国育樹祭の目的	2
	2 和歌山県での開催状況	2
	3 開催理念	3
	4 大会テーマ	5
	5 シンボルマーク・ロゴマーク	5
	6 ポスター原画	5
	7 開催行事	6
	8 開催場所の詳細	8
第2章 お手入れ行事計画	1 基本的な考え方	9
	2 お手入れ行事の概要	9
	3 会場整備・設営	12
	4 記念育樹活動等	14
第3章 式典行事計画	1 基本的な考え方	15
	2 式典行事の概要	15
	3 アトラクションの概要	17
	4 会場設営	18
	5 おもてなし広場	22
第4章 懇談会計画	1 基本的な考え方	23
	2 懇談会(歓迎レセプション)の概要	23
第5章 併催行事計画	1 育林交流集会	24
	2 全国緑の少年団活動発表大会	25
第6章 記念行事計画	1 森林・林業・環境機械展示実演会	26
	2 その他の記念行事	27
	3 その他の関連行事	28
第7章 運営計画	1 基本的な考え方	29
	2 実施本部設置計画	29
	3 参加者行動計画	32
	4 宿泊計画	34
	5 輸送計画	34
	6 受付計画	35
	7 警備計画	35
	8 参加者サービス計画	36
	9 消防・防災計画	36
	10 救護・衛生計画	37
	11 緊急対応計画	38
	12 雨天時・荒天時対応計画	38
第8章 広報・協賛計画	1 広報計画	39
	2 協賛計画	39
第9章 開催準備計画	1 リハーサル計画(お手入れ行事)	40
	2 リハーサル計画(式典行事)	40
	3 開催スケジュール	41

第1章 全体計画

1 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代に繋げていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。

全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を、皇族殿下がお手入れされるシンボリック的行事に加え、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事が行われます。

2 和歌山県での開催状況

本県では、昭和52年に「第28回全国植樹祭」を、平成23年に「第62回全国植樹祭」を開催しています。今回、令和8年に本県で初めて全国育樹祭を開催します。

第28回全国植樹祭（昭和52年）

昭和52年4月に東牟婁郡那智勝浦町的那智高原において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「みんなで 育てる みどりの郷土」を大会テーマとして、両陛下によるスギやヒノキのお手植えのほか、参加者による記念植樹などが行われました。

【開催概要】

- 大会テーマ：みんなで 育てる みどりの郷土
- 開催日：昭和52年4月17日
- 会場：那智高原



第62回全国植樹祭（平成23年）

平成23年5月に田辺市の新庄総合公園において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」を大会テーマとして、両陛下によるウバメガシなど6種の苗木のお手植えやコウヤマキなど4種の種子のお手播きのほか、両陛下と一緒に参加者が竹ポットへ木の種を播きました。

また、この全国植樹祭を契機に、県では「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定しています。

【開催概要】

- 大会テーマ：緑の神話 今 そして未来へ
紀州木の国から
- 開催日：平成23年5月22日
- 会場：新庄総合公園



3 開催理念

本県は、温暖多雨な気候に恵まれ、樹木を始め多くの生物が共存している森、川、海という豊かな自然を有し、古くから「紀州 木の国」と呼ばれ、林業が盛んで、豊かな森林から生産される紀州材は、住宅用の木材としてねばり強く、また色つやの良い材として評価されています。

木の国和歌山の森林は、様々な林産物を供給するだけでなく、清らかな水を蓄え、災害から県民の暮らしを守り、多様な生態系を支える“恵みの森”であるとともに万葉の時代から歌に詠まれてきた美しい自然や世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道(さんけいみち)」に代表される景観を形成し、先人が守り、受け継いできた貴重な財産です。

その森林に親しみ森林を守るため、本県では、次代を担うこどもたちへの森林・林業教育や企業の社会貢献活動（CSR）と森林保全活動をマッチさせた「企業の森」の取組を全国に先駆け進めてきました。

さらに、国際森林年である平成23年に本県にて開催した第62回全国植樹祭を機に、育んだ森林や樹木を大切に作る心を醸成し、森林や樹木を守り育てていくため、「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定し、毎年春に「わかやま森林と樹木の日」記念行事を実施しています。

また、本格的な利用期を迎えた森林資源の効果的な活用に向け、機械化の推進や林道の整備などを進め「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を促進し、適正な森林管理のもとで、持続的な森林・林業・木材産業を実現するために、「和歌山県森林・林業”新”総合戦略」を策定し、様々な取組を推進しています。

こうした中、本県において全国育樹祭を開催することは、本県の魅力や取組を発信する絶好の機会であるとともに、豊かな木の国の緑を将来に引き継ぐための県民全体での取り組みの大きな節目となります。第62回全国植樹祭の開催理念を継承しながら、次の3つの行動を指針として、様々な人や方法で健全で多様な森林を作り、「恵みの森」の更なる高みを目指す大会とします。

① 守り、次の世代へつなぐ！	② 育み、木を活かす！	③ 共に考え、行動する！
万葉の時代から歌に詠まれてきた美しい自然や、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される景観を形成する“恵みの森”を守り、次の世代に引き継ぎます。	「紀州 木の国」の森を育むことで、カーボンニュートラルに貢献するとともに、紀州材の利用など、森林資源を有効に活かします。	歴史と文化を学び、新しい知見や技術を取り入れながら、あらゆる人が共に支え合いながら時代に合わせた森づくりを考え、行動します。

第49回全国育樹祭 基本コンセプト

全国植樹祭

第28回(1977年)@那智勝浦町
みんなで 育てる みどりの郷土

希望と活力に満ちた
健康で生きがいのある環境づくり

第62回(2011年)@田辺市
緑の神話 今 そして未来へ
紀州木の国から

「恵みの森」の再生と
森林文化社会の実現を目指す

「恵みの森」のさらなる高みを目指す

第49回全国育樹祭 (2026年)@田辺市 & 白浜町

大会テーマ

育てて使おう 地球に優しい 緑の資源

3つの行動指針



守り、
次の世代へつなぐ！

育み、
木を活かす！



共に考え、
行動する！



4 大会テーマ

育てて使おう 地球に優しい 緑の資源

- 作者 : 田上 玲奈 さん(和歌山県和歌山市在住)
- 説明 : 森林資源は、太陽と土と水さえあれば、再生産可能な循環資源です。しかも地球温暖化の原因となるCO₂を吸収し、木材という資源を創り、酸素を生み出してくれます。使っても使っても減らない緑の資源を、今こそ有効利用の時です。

5 シンボルマーク・ロゴマーク



キノピー

紀の国森づくり大使
全国植樹祭シンボルマーク
全国育樹祭へのブリッジング・キャラクター



ロゴマーク
(横)



ロゴマーク
(縦)

6 ポスター原画



- 作者 : 堀尾 来菜 さん
(和歌山市立和歌山高等学校2年)
※令和6年度当時

■画題 : 『繋がる木』

- 説明 : 私たちが今植えていく木がいつの日か後ろにある木のように大きくなって地球を支えていくイメージで描きました。自然の豊かさを感じてもらうために光や色をよく考えて描きました。

7 開催行事

(1) 全国育樹祭行事

【主催】 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構

■お手入れ行事

ア 開催日： 令和8年11月7日(土)

イ 会場： 新庄総合公園(田辺市たきない町24-16) ※第62回全国植樹祭開催地

ウ 参加者： 約200人

エ 内容： 皇族殿下による天皇皇后両陛下お手植え樹木のお手入れ

■式典行事

ア 開催日： 令和8年11月8日(日)

イ 会場： 白浜会館(西牟婁郡白浜町1-1)

ウ 参加者： 約2,000人

エ 内容： 皇族殿下のおことば、緑化功労者等の表彰、
緑の少年団活動の代表発表、メインアトラクション、大会宣言 など

■懇談会(歓迎レセプション)

ア 開催日： 令和8年11月7日(土)

イ 会場： 和歌山県内ホテル(未定)

ウ 参加者： 約200人

エ 内容： 皇族殿下の御臨席を仰ぎ、緑化功労者等を招待して開催

(2) 併催行事

■育林交流集会

ア 主催： 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構

イ 開催日： 令和8年11月7日(土)

ウ 会場： 南紀の台ホール(西牟婁郡上富田町南紀の台63-3)

※「紀州 木の街 フルーツが香る 南紀の台Yottette広場」内

エ 参加者： 約200人

オ 内容： 県内外の林業・木材産業の関係者や、次代を担う学生などの参加による
森林づくりや林業の課題等をテーマとした講演など

■全国緑の少年団活動発表大会

ア 主催： 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構

イ 開催日： 令和8年11月7日(土)

ウ 内容： 県内外から選出された緑の少年団による日頃の活動状況発表や団員同士
の親交を深める交流集会

【活動発表大会】会場：和歌山県立情報交流センター Big・U
(田辺市新庄町3353-9)

参加者：約300人

【交流集会】会場：和歌山県立情報交流センター Big・U
(田辺市新庄町3353-9)

参加者：約100人

(3) 記念行事

■森林・林業・環境機械展示実演会

- ア 共 催： 和歌山県、一般社団法人林業機械化協会
- イ 開催日： 令和8年11月8日(日)～9日(月)
- ウ 会 場： 旧南紀白浜空港跡地(西牟婁郡白浜町2926外)
- エ 参加者： 約10,000人
- オ 内 容： 森林・林業・環境機械の安全使用や機械化による施業の効率化を関係者に普及するとともに、地元の児童や生徒、一般参加者の関心と理解を高め、担い手育成の契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示実演

(4) その他の記念行事

■わかやま森林と樹木の日記念行事（開催実績）

- ア 主 催： 和歌山県
- イ 開催日： 令和7年5月24日(土)
- ウ 会 場： 熊野川ドーム(新宮市熊野川町日足681)
- エ 参加者： 120人
- オ 内 容： 和歌山県緑化功労賞の授与、みどりの少年団体体験イベント

■国民参加の森林(もり)づくりシンポジウム（開催実績）

- ア 主 催： 和歌山県、公益財団法人森林文化協会
公益社団法人国土緑化推進機構、朝日新聞社
- イ 開催日： 令和7年11月29日(土)
- ウ 会 場： 和歌山県民文化会館小ホール(和歌山市小松原1-1)
- エ 参加者： 217人
- オ 内 容： 基調講演、パネルディスカッション等

(5) その他の関連行事

■シンボリックアクション

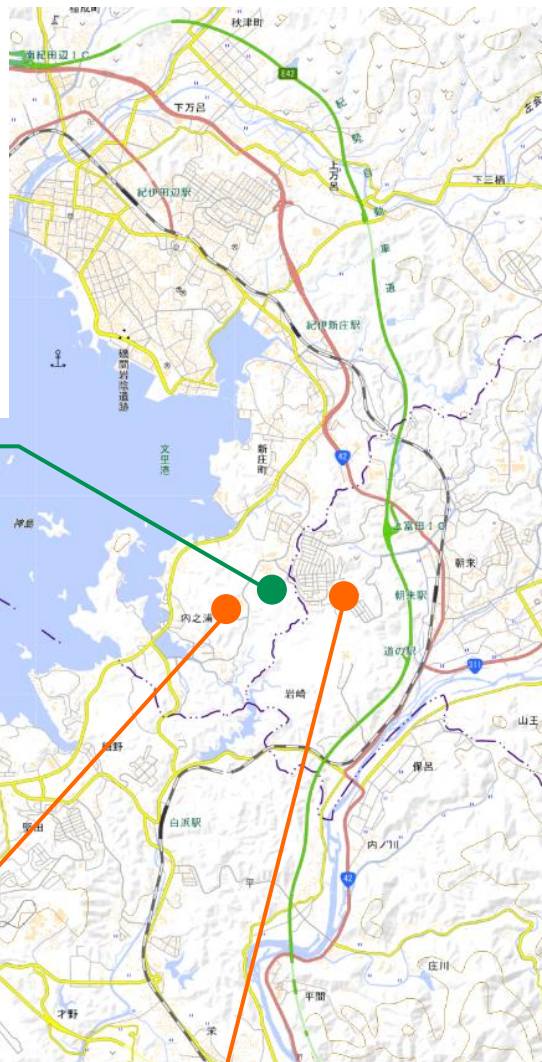
大会テーマ「育てて、使う」および開催理念「共に考え、行動する」を象徴する取組として、イベント等において、こどもをはじめとする県民の皆様が式典行事で使用する、かんなくずを活用した「キノハナ」や木製プランターカバーを制作します。

■市町村及び関係団体と連携した育樹行事等

和歌山県が実施するイベントのほか、市町村や関係団体が実施するイベント等を全国育樹祭の関連行事と位置付け、全国育樹祭の開催機運を醸成するための取組を進めます。

第1章 全体計画

8 開催場所の詳細



お手入れ行事

新庄総合公園(田辺市)

式典行事

白浜会館(白浜町)

森林・林業・環境機械 展示実演会

旧南紀白浜空港跡地
(白浜町)

全国緑の少年団 活動発表大会

和歌山県立情報交流センター
Big・U(田辺市)

育林交流集会

南紀の台ホール
(上富田町)

■ 全国育樹祭行事
■ 併催・記念行事

令和7年度	令和8年度		
	11月7日(土)	11月8日(日)	11月9日(月)
国民参加の森林(もり)づくり シンポジウム	お手入れ行事	式典行事	
わかやま森林と樹木の日 記念行事	懇談会 (歓迎レセプション)		
	全国緑の少年団 活動発表大会	森林・林業・環境機械展示実演会	
	育林交流集会		

第2章 お手入れ行事計画

1 基本的な考え方

第62回全国植樹祭(平成23年開催)において、天皇皇后両陛下(現在のの上皇上皇后両陛下)がお手植えになられた樹木を皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

2 お手入れ行事の概要

(1)開催日 : 令和8年11月7日(土)

(2)会 場 : 新庄総合公園(田辺市たきない町24-16) ※第62回全国植樹祭開催地

新庄総合公園 園内マップ



新庄総合公園は「花」「芸術」「音楽と集い」をテーマとした文化の森に自然の森を融合させることにより、自然環境に親しみながら文化的活動を楽しむことのできる、田辺市の都市公園です。

平成23年に第62回全国植樹祭の会場になり、天皇皇后両陛下がお手植えなされた6種類の樹木が、公園の中心で今も大切に育てられています。

(3)参加者 : 約200人

(中央推薦、県知事推薦、田辺市長推薦、県内林業関係団体、地元小学生等)

第2章 お手入れ行事計画

(4) 次第

次第	行事概要
記念育樹活動等	
特別接遇者による育樹活動	会場内の樹木に施肥及び記念撮影 ・介添え：県内みどりの少年団等
アトラクション	地元の団体等による歓迎演奏
お手入れ行事	
皇族殿下御着	・先 導：和歌山県知事 ・お出迎え：大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長
パネル展示などの御覧	・説 明：県内みどりの少年団 ・内 容：第62回全国植樹祭の様子、森づくりの取組
お手入れ	・皇族殿下による、天皇皇后両陛下のお手植え樹木へのお手入れ ・介添え：県内みどりの少年団、県内高校生
皇族殿下御発	・先 導：和歌山県知事 ・お見送り：大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長

(5) お手入れ内容

ア お手入れ対象樹木

- ・樹種：ウバメガシ、イチイガシ
- ・樹齢：14年(令和8年3月時点)



天皇陛下お手植えのウバメガシ



皇后陛下お手植えのイチイガシ

イ お手入れ作業

- ・皇族殿下による枝打ち(択伐)や施肥



お手入れのご様子：第48回全国育樹祭(宮城県)

ウ お手入れ道具

- ・手鋸、肥料入れ、鍬
- ・お手入れ道具には和歌山県産材を使用します。

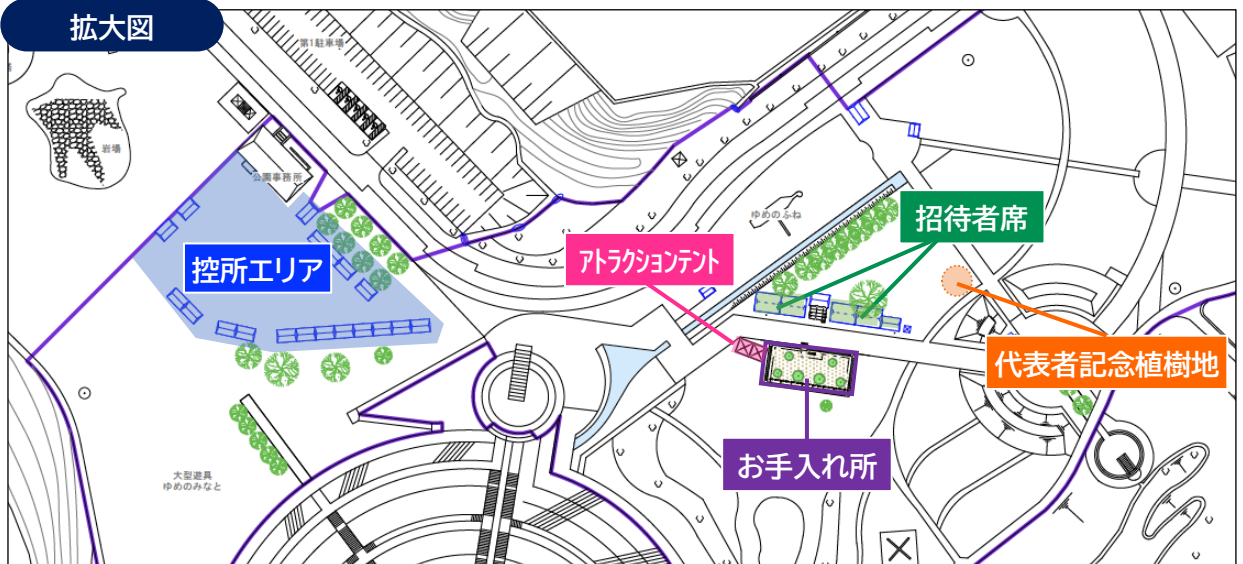
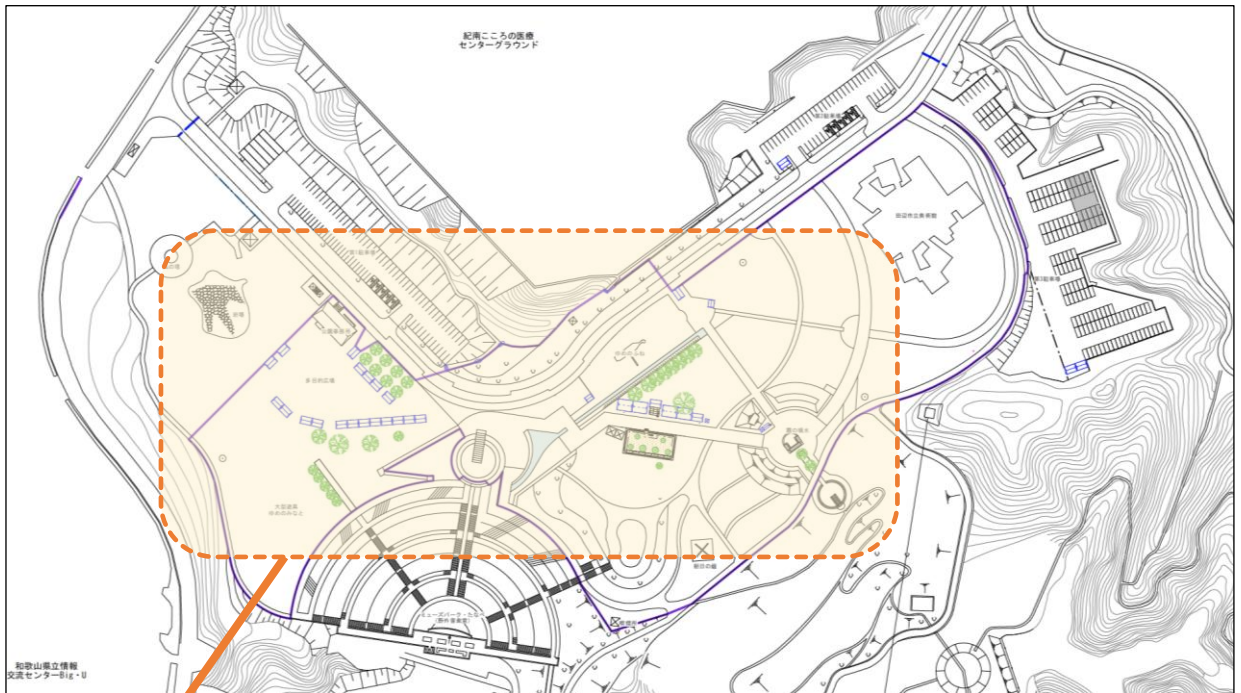


お手入れ道具：第48回全国育樹祭(宮城県)

第2章 お手入れ行事計画

(6) お手入れ行事会場レイアウト案

<新庄総合公園>

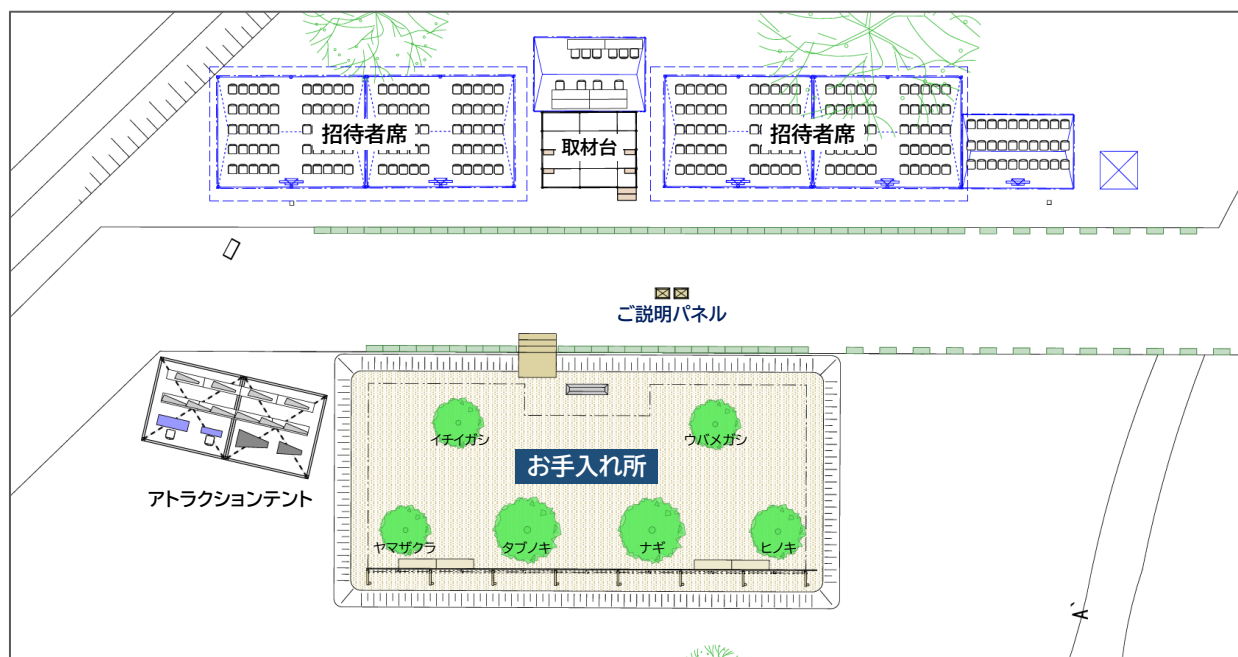


第2章 お手入れ行事計画

3 会場整備・設営

(1) 会場整備

会場となる新庄総合公園は都市公園法に基づく公園であることから、仮設物は必要最小限度にとどめ、周辺の景観に影響を与えないよう十分配慮します。



お手入れ行事会場のイメージ

第2章 お手入れ行事計画

(2) 会場設営

本県で開催された第62回全国植樹祭の説明パネルを作成し、参加者席のテントなどの仮設物を設置します。パネルや装飾等の製作にあたっては、紀州材を積極的に活用します。

ア 仮設テントの設置

参加者席は、大型テントを設置し快適な会場づくりに努め、テントなどの仮設施設は、必要最小限にとどめ、適切な規模(数、大きさ)とします。

イ 金属探知機の設置

安全を確保するため、警戒エリアを設定します。また、会場内のセキュリティを確保するため、金属探知機による入場管理を徹底します。

ウ 会場装飾

会場を彩り、動線を確保するため県内産の飾花で装飾します。
また、会場に設置する木製プランターは、行事終了後、公共施設等で活用することで、全国育樹祭の理念を県民に伝えます。

エ 案内誘導サイン

参加者が安全かつ円滑にお手入れ行事に参加することができるよう案内誘導サインを設置します。

オ 給排水設備

- ・ドリンクコーナー:ドリンクコーナーを設置し、湯茶等の提供を行います。
- ・トイレ:基本的に会場設備を利用します。

カ 電気設備

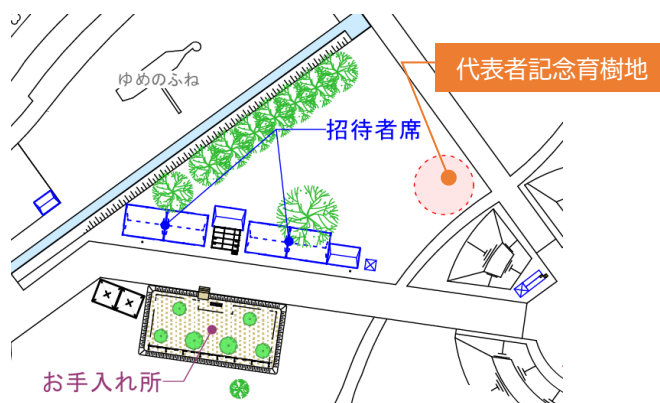
会場内で使用する電気設備については、発電機でまかなう計画とします。

4 記念育樹活動 等

(1) 育樹活動

ア 育樹概要

お手入れ行事開始前に、特別待遇者による施肥を通じて、育樹の大切さを県民はもとより広く全国に発信します。



イ 育樹道具

・参加者には、手袋、肥料、スコップ、おしぼりを用意します。

ウ 育樹方法

- ・樹木1本当たり3か所程度の肥料を施し、1人1か所の穴に肥料を入れます。
- ・みどりの少年団等が介添えを行います。

(2) アトラクション演出

お手入れ行事開始前にアトラクションで参加者を歓迎します。

第3章 式典行事計画

1 基本的な考え方

全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマ「育てて使おう 地球にやさしい 緑の資源」を象徴的に表現し、和歌山県らしい緑の祭典となるよう演出します。

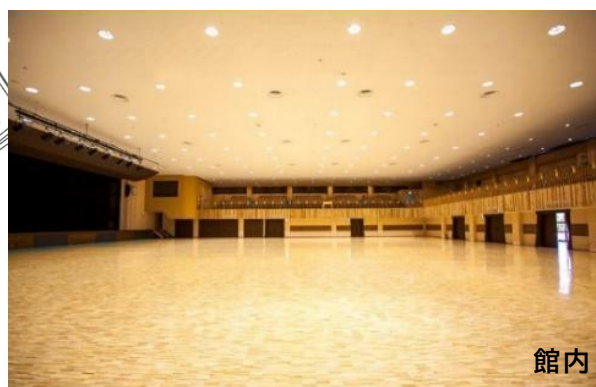
2 式典行事の概要

(1)開催日：令和8年11月8日(日)

(2)会 場：白浜会館(西牟婁郡白浜町1-1)



白浜会館 正面玄関



館内

白浜会館は阪田公園の中にあり、各種大会や会議を始め、室内スポーツ(卓球・ダンスなど)、講演会、歌謡ショーなど、地域の方々に親しまれ幅広く利用されている施設です。平成27年の紀の国わかやま国体では、卓球競技が行われ、天皇皇后両陛下が行幸啓で試合を御覧になりました。

(3)参加者：約2,000人

区分	人数	内 訳
中央・県外参加者	約 500人	中央推薦、各都道府県推薦等
県内参加者	約 850人	実行委員会会長選考、県内市町村長推薦、一般公募等
出演者、運営スタッフ等	約 650人	出演団体、式典音楽隊、実施本部員等
合 計	約 2,000人	

第3章 式典行事計画

(4) 次第

時間	次第	概要
開場	招待者入場	和歌山県の魅力を伝える映像、和歌山県の森林・林業を紹介する映像、大会までの取組映像 等
プロローグ		
30分	オープニングアトラクション	歓迎の意を込めたアトラクション 「古から繋がる“恵みの森”から」
	お手入れ行事紹介映像	前日のお手入れ行事のダイジェスト映像
式典		
60分	皇族殿下御着	先 導:和歌山県知事 お出迎え:大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長
	開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
	国歌斉唱	国歌斉唱
	主催者挨拶	大会会長(参議院議長)、和歌山県知事
	歓迎のことば	白浜町長
	皇族殿下のおことば	皇族殿下
	表彰	緑化功労者等へ感謝状等を贈呈 贈呈者:大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、 (公社)国土緑化推進機構理事長、和歌山県知事
	緑の贈呈	全国緑の少年団活動発表大会の発表団ヘキノハナを贈呈
	緑の少年団の活動発表	代表緑の少年団の活動発表
	メインアトラクション	木の国と呼ばれる背景から未来へつなぐアトラクション 「育てて使おう 地球に優しい 緑の資源 ～緑の神話 今 そして未来～」
	大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長
	次期開催県挨拶	秋田県知事
閉会のことば	和歌山県議会議長	
皇族殿下御発	先 導:和歌山県知事 お見送り:大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長、 県内緑の少年団	
エピローグ		
20分	エンディングアトラクション	参加者それぞれが森林との関わり方を考え、誓うアトラクション 「共に行動し、みんなで考える “恵みの森”の活かし方」

3 アトラクションの概要

全国育樹祭を通じて、“ことばで伝える”ことにより、 人と森、世代と世代、そして地域と未来をつなぐ空間を創出

和歌山は古来より「木の国」と称され、日本書紀には木材の特性に応じた活用法が記され、五十猛命など木の神々が鎮まる神聖な地として語られてきた背景から、木と人との深い結びつきが地域文化の中で大切に受け継がれてきました。

育樹祭では、高校生が中心となって、自らの視点で木や森と向き合い、得た気づきや学びを“ことば”で社会へ発信します。その語りは、未来への意識を高める契機となり、育樹祭の場を世代を越えた対話の空間へと昇華させます。

【オープニングアトラクション】「古から繋がる“恵みの森”」

会場空間の特性を活かした演出で来場者の心を一気に熊野古道へ。歓迎の意味を込めたパフォーマンスから植樹祭のレガシー、育樹祭へのムーブメントを高校生が語りでリードしながら進行する流れのある幕開けとします。

【メインアトラクション】「育てて使おう 地球に優しい 緑の資源 ～緑の神話 今 そして未来～」

和歌山が古くから木の国と呼ばれていることを背景に、今大会のテーマ「育てて使おう 地球に優しい 緑の資源」について、学生を中心としたストーリーを展開することで、未来へつなぐ、“新たな木の国”へ踏み出す契機とします。

【エンディングアトラクション】「共に行動し、みんなで考える“恵みの森”の活かし方」

紀州 木の国の「恵の森」を育み活かす活動をされている方を招き、インタビュー形式でお話を伺いながら、参加者一人ひとりに、森林づくりへの関わり方を自分ごととして考えていただき、全国育樹祭を締めくくります。

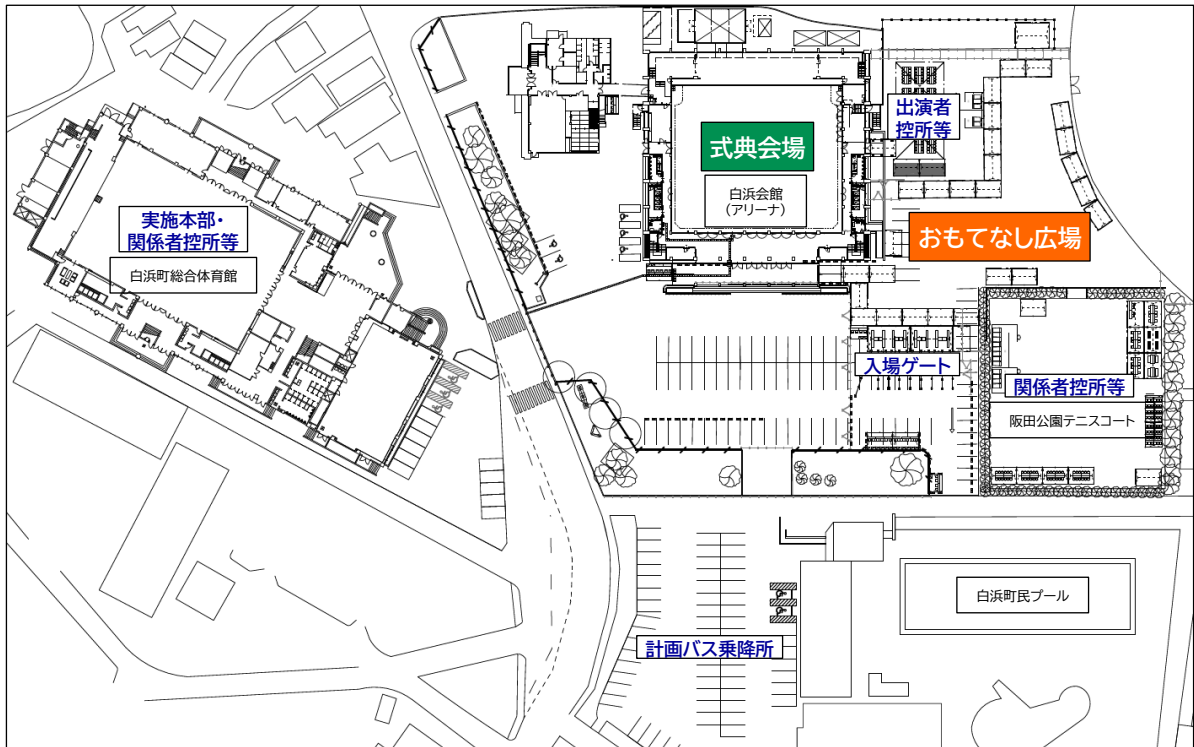
4 会場設営

(1) 会場概要

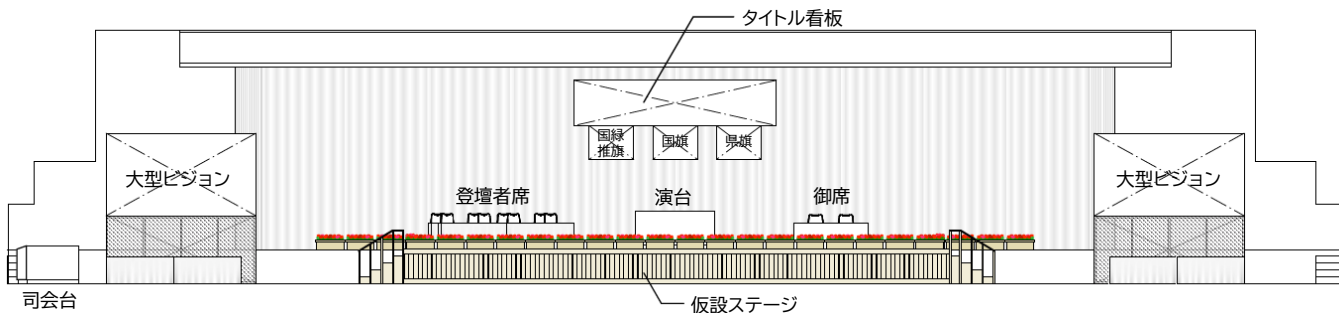
式典会場の整備、設営にあたっては、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるよう目指すとともに、周囲の景観や環境に配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

式典会場の装飾等については、紀州材を積極的に活用します。

<式典行事会場イメージ>



<式典ステージ立面図・イメージ>



(2) 主要な仮設物などの設置計画

ア 案内誘導サイン計画

参加者を入場から着席まで円滑に誘導し、おもてなし広場やトイレなど会場の配置を把握するための案内誘導サインを設置します。

イ トイレ・給排水設備計画

トイレは基本的に会場設備を利用し、不足が見込まれる分を仮設で設置します。

ウ 映像システムの設置

参加者席から、登壇者およびアトラクション風景や記録映像を見ていただきやすくするため、大型ビジョンを設置します。

エ 音響・照明装置の設置

参加者に、式典行事のダイナミックな演出を体感していただくため、会場内の全席へ均一に音を届ける音響装置や照明装置を設置します。

オ 電気設備計画

電気は式典行事自体の運営、進行に支障をきたすことのないよう、必要な仮設のバックアップ電源を確保して十分な対策を講じるとともに、環境にも十分配慮した計画とします。電線は、なるべく人の通らないところに配線し、通路を横断せざるを得ない場合は養生を行い、安全に配慮します。

カ その他の仮設物

椅子などの施設備品や、屋外に設置するテントなど汎用性が高くリース可能な仮設物は、経済性を考慮して、原則、既製品を使用します。

(3) 安全性・機能性・効率性への配慮

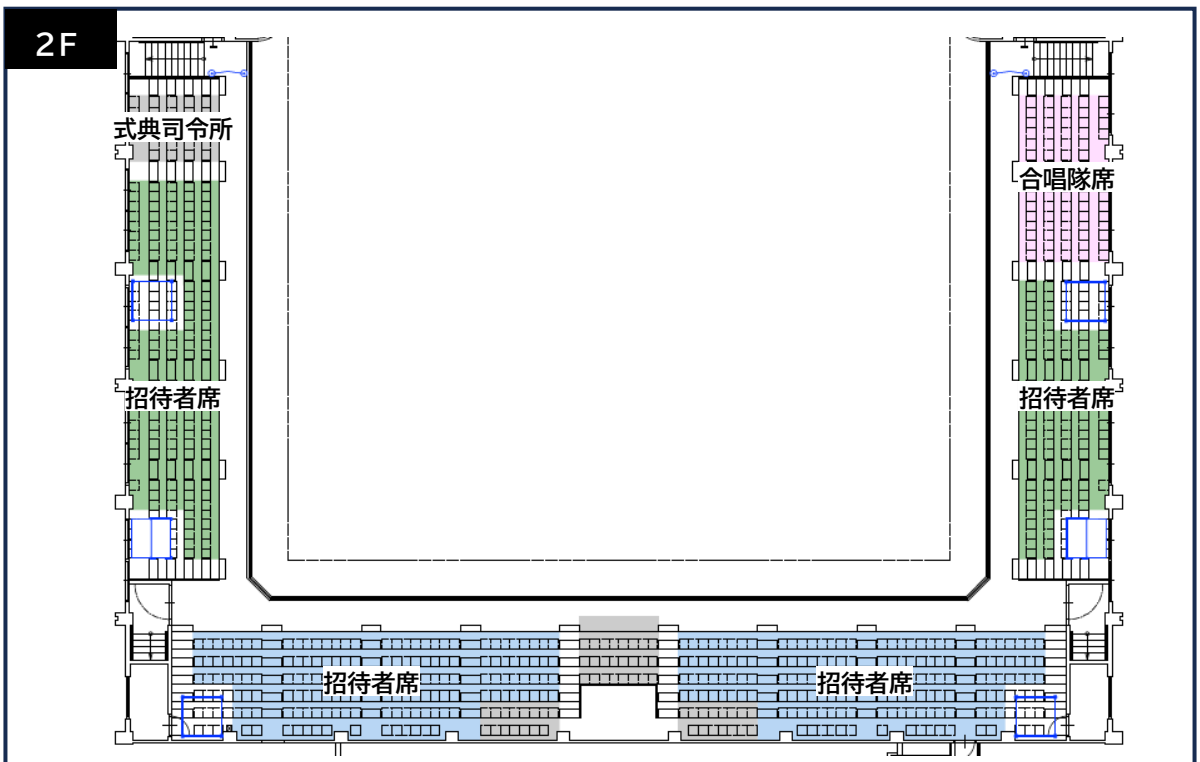
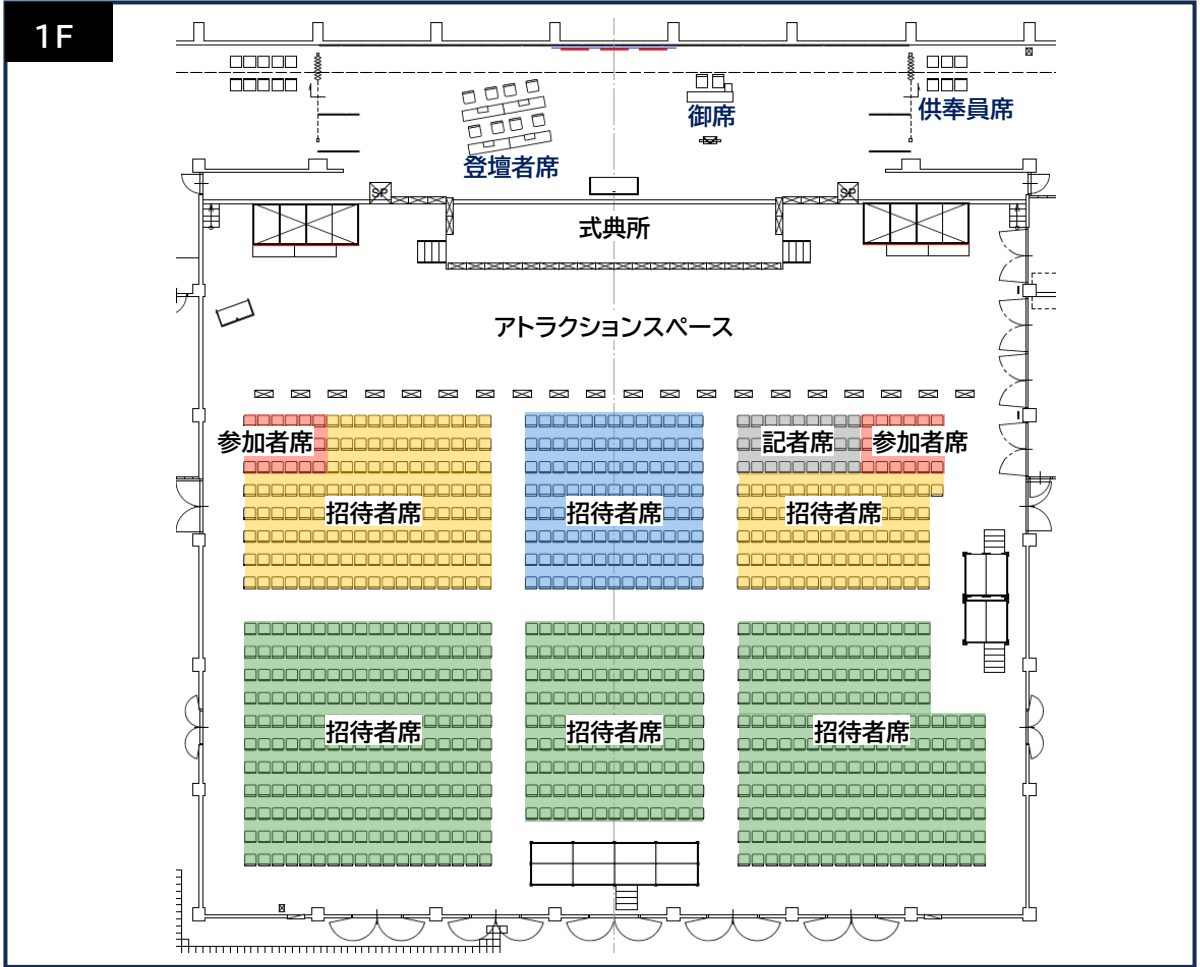
式典行事には、皇族殿下をはじめ、全国から約2,000人が参加することから、会場計画は安全性を最も重視し、かつ機能的・効率的な計画とします。

ア 警備区域を設定し、警察機関と連携して会場への出入管理を徹底します。

イ 会場の特性を考慮した仮設物設置計画を検討します。

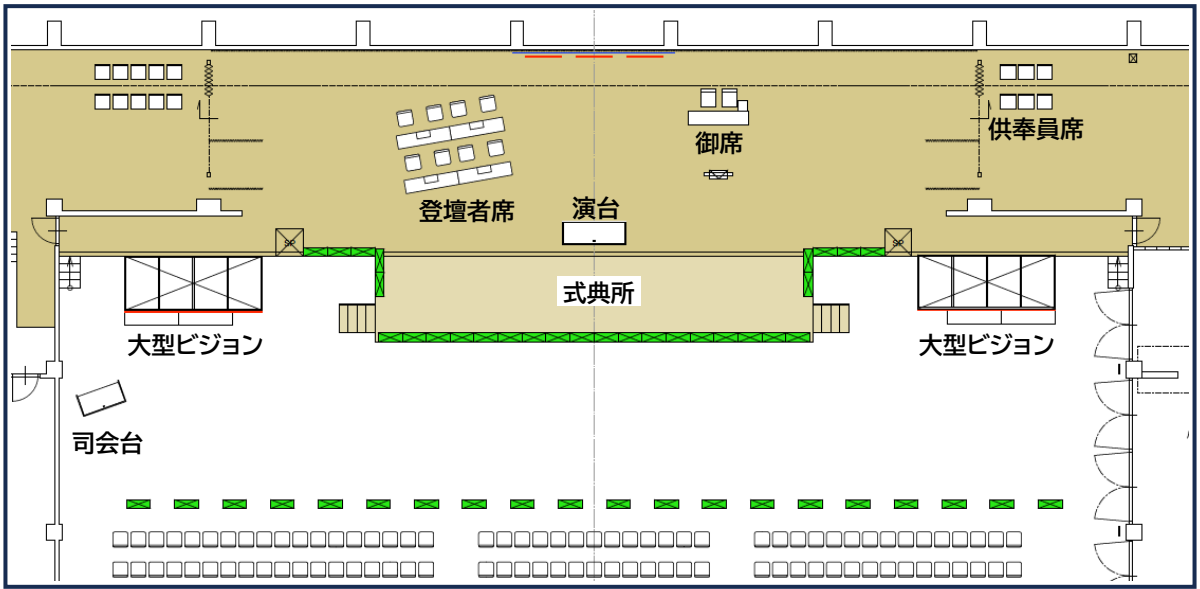
第3章 式典行事計画

(4) 式典行事会場 配席図



第3章 式典行事計画

< 式典ステージ平面図 >



(5) 会場装飾計画

飾花で用いるプランターには県産の花を植え、プランターカバーには県産木材を使用し、式典行事会場等を彩るとともに、参加者の安全かつ円滑な動線の確保に配慮して配置します。

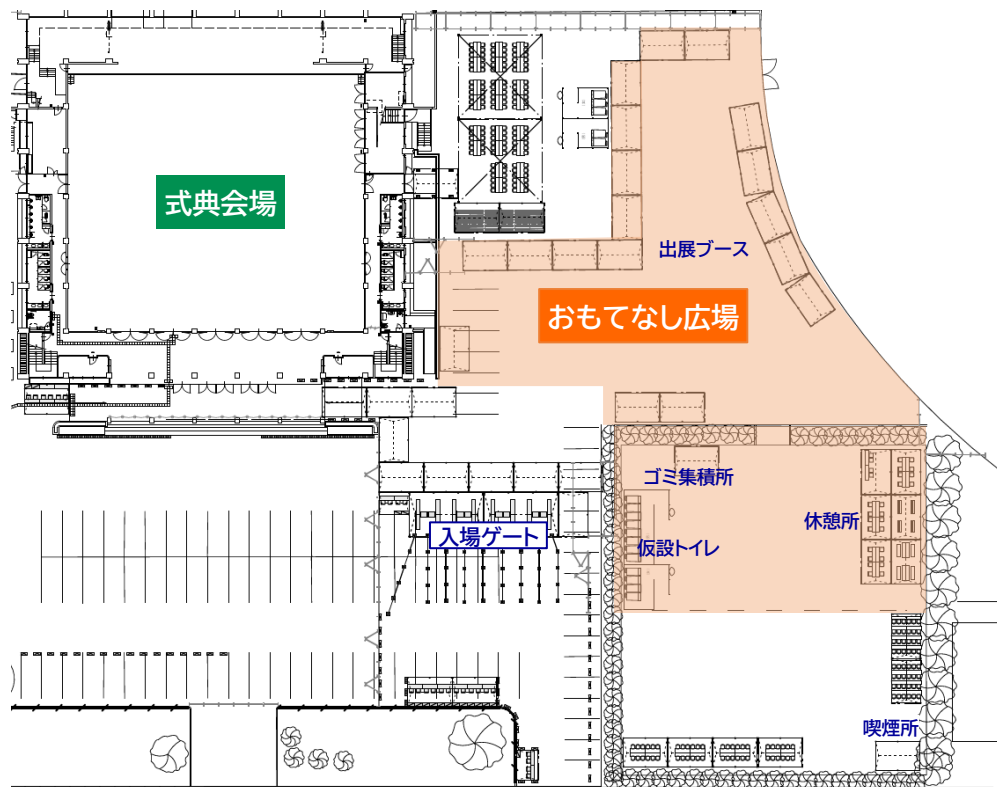
また、会場のエントランス部分には、県産木材を活用して、ウェルカムオブジェ等を設置します。



5 おもてなし広場

(1) 会場概要

式典会場の隣接地に「おもてなし広場」を設置し、和歌山県の特産品等の展示、販売や観光情報の提供を行います。



「おもてなし広場」のイメージ

第4章 懇談会計画

1 基本的な考え方

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会(歓迎レセプション)を開催します。

2 懇談会(歓迎レセプション)の概要

- (1) 開催日： 令和8年11月7日(土)
- (2) 会 場： 和歌山県内のホテル(未定)
- (3) 参加者： 約200人
皇族殿下
大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、林野庁長官、
(公社)国土緑化推進機構理事長、
和歌山県知事、和歌山県議会議長、秋田県関係者、
和歌山県市町村関係者、緑化功労者等、林業・木材関係団体代表者等
- (4) 内 容： 全国育樹祭での表彰者に祝意を表する場として開催
- (5) 次 第：

次第	行事概要
皇族殿下御着	・先 導:和歌山県知事 ・お出迎え:大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、林野庁長官、 (公社)国土緑化推進機構理事長、秋田県知事、 和歌山県議会議長
開会のことば	和歌山県議会議長
主催者挨拶	大会会長(参議院議長)
乾杯	和歌山県知事
歓談	皇族殿下による緑化功労者等へのお声かけ、歓談
皇族殿下御発	・先 導:和歌山県知事 ・お見送り:大会会長(参議院議長) (公社)国土緑化推進機構理事長 開催市町 首長・議長

第5章 併催行事計画

1 育林交流集会

林業関係者はもとより、次の世代を担う若者、ボランティア団体など、森林や林業に関心を持つ方々が参加し、森林づくりや林業の課題等をテーマに講演等を行います。

- (1) 主 催： 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日： 令和8年11月7日(土)
- (3) 会 場： 南紀の台ホール(西牟婁郡上富田町南紀の台63-3)
※「紀州 木の街 フルーツが香る 南紀の台Yottette広場」内
- (4) 参加者： 約200人
- (5) 次 第：

次 第	登壇者・出演者等
主催者挨拶	和歌山県、(公社)国土緑化推進機構
来賓祝辞	林野庁、(一社)全国林業改良普及協会
歓迎のこトバ	上富田町
講演等	森林・林業に造詣の深い方による講演
閉会のこトバ	和歌山県



第48回全国育樹祭(宮城県) 育林交流集会

第5章 併催行事計画

2 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団の代表が一堂に集い、お互いの森林の大切さや緑を守る活動を知るため、その日頃の活動について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

【活動発表大会】

- (1) 主 催： 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日： 令和8年11月7日(土)
- (3) 会 場： 和歌山県立情報交流センター Big・U 多目的ホール(田辺市新庄町3353-9)
- (4) 参加者： 約300人
- (5) 次 第：

次 第	登壇者・出演者等
発表団入場・各団紹介	緑の少年団
主催者挨拶	和歌山県、(公社)国土緑化推進機構
歓迎のことば	田辺市
励ましのことば	林野庁
活動発表	緑の少年団(全国選出5団)
特別講演	動物作家・昆虫研究家・篠原かをり
講評	和歌山県、(公社)国土緑化推進機構、林野庁
みどりの奨励賞表彰	緑の少年団(全国選出5団)
緑の少年団育成成功労賞表彰	団体・個人
閉会のことば	和歌山県



第48回全国育樹祭(宮城県) 活動発表大会

【交流集会】

- (1) 主 催： 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日： 令和8年11月7日(土)
- (3) 会 場： 和歌山県立情報交流センター Big・U 会議室1(田辺市新庄町3353-9)
- (4) 参加者： 約100人
- (5) 内 容： 県内外の緑の少年団が交流を深めるためのレクリエーション等



第48回全国育樹祭(宮城県) 交流集会

第6章 記念行事計画

1 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械の安全使用や機械化による施業の効率化を関係者に普及するとともに、地元の児童や生徒、一般参加者の関心・理解を高め、担い手を育成する契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示実演等を行います。

- (1) 共 催： 和歌山県、一般社団法人林業機械化協会
- (2) 開催日： 令和8年11月8日(日)～9日(月)
- (3) 会 場： 旧南紀白浜空港跡地(西牟婁郡白浜町2926外)
- (4) 参加者： 約10,000人
- (5) 次 第：

日付	内容	出演者等
11月8日(日)	主催者挨拶	和歌山県、(一社)林業機械化協会
	来賓祝辞	林野庁
	歓迎のことば	白浜町
	テープカット	和歌山県、(一社)林業機械化協会、白浜町など
	展示・実演	国内外の林業機械メーカーなど
	ステージイベント	チェーンソーカービングショー

日付	内容	出演者等
11月9日(月)	展示・実演	国内外の林業機械メーカーなど
	ステージイベント	チェーンソーカービングショー



第48回全国育樹祭(宮城県) 森林・林業・環境機械展示実演会

第6章 記念行事計画

2 その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや紀州材利用を進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を開催しました。

■「わかやま森林と樹木の日」記念行事(開催実績)

- ア 主 催： 和歌山県
- イ 開催日： 令和7年5月24日(土)
- ウ 会 場： 熊野川ドーム(新宮市熊野川町日足681)
- エ 参加者： 120人
- オ 内 容： 和歌山県緑化功労賞の授与、みどりの少年団体体験イベント



■国民参加の森林(もり)づくりシンポジウム(開催実績)

第49回全国育樹祭の1年前記念行事として、森林教育(和歌山県での通称『緑育』)をテーマに、今までの取り組みを振り返り、これからの『緑育』の在り方などを議論しました。

- ア 主 催： 和歌山県、公益財団法人森林文化協会、
公益社団法人国土緑化推進機構、朝日新聞社
- イ 開催日： 令和7年11月29日(土)
- ウ 会 場： 和歌山県民文化会館小ホール(和歌山市小松原1-1)
- エ 参加者： 217人
- オ 内 容： 基調講演
『自然教育の魅力～AI時代に育む力～』
講師 尾木直樹氏(教育評論家、法政大学名誉教授)
パネルディスカッション
『これからの森林教育～子どもたちの心に森を育てる』
コーディネーター 大浦由美(和歌山大学教授)
パネリスト 浦西大樹(マルカ林業株式会社課長)
岡田和久(和歌山県森林インストラクター会会長)
佐道匡子(manma place 共同代表)
平山大輔(三重大学教授)



3 その他の関連行事

■シンボリックアクション

大会テーマ「育てて、使う」および開催理念「共に考え、行動する」を象徴する取組として、イベント等において、こどもをはじめとする県民の皆様が式典行事で使用する、かんなくずを活用した「キノハナ」や木製プランターを制作します。



■その他

和歌山県が実施するイベントのほか、市町村や関係団体が実施するイベント等を全国育樹祭の関連記念行事と位置付け、全国育樹祭の開催機運を高めていきます。



1 基本的な考え方

皇族殿下の御臨席のもと、全国から多くの参加者が集う大会であることを踏まえ、安全確保を最優先した運営を行うとともに、効率的でありながらも、必要な配慮の行き届いたきめ細かい運営を行い、誰もが安心・快適に参加できる大会を実現します。

また、和歌山県では次代を担うこどもたちへの継承の観点から、第49回全国育樹祭のお手入れ行事や式典行事のほか、主要な行事に地元の小学生が多く参加できる体制を整えます。

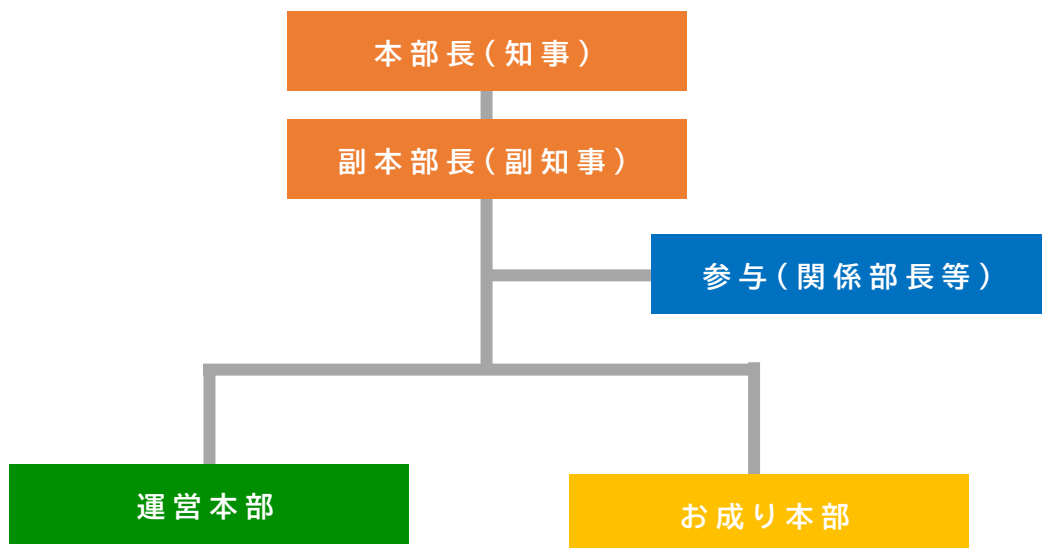
併せて、大会の運営にあたっては、県民参加によるおもてなしを充実させ、関係する機関、団体等との緊密な連携、協力のもと、不測の事態にも速やかに対応できる体制を整備します。

2 実施本部設置計画

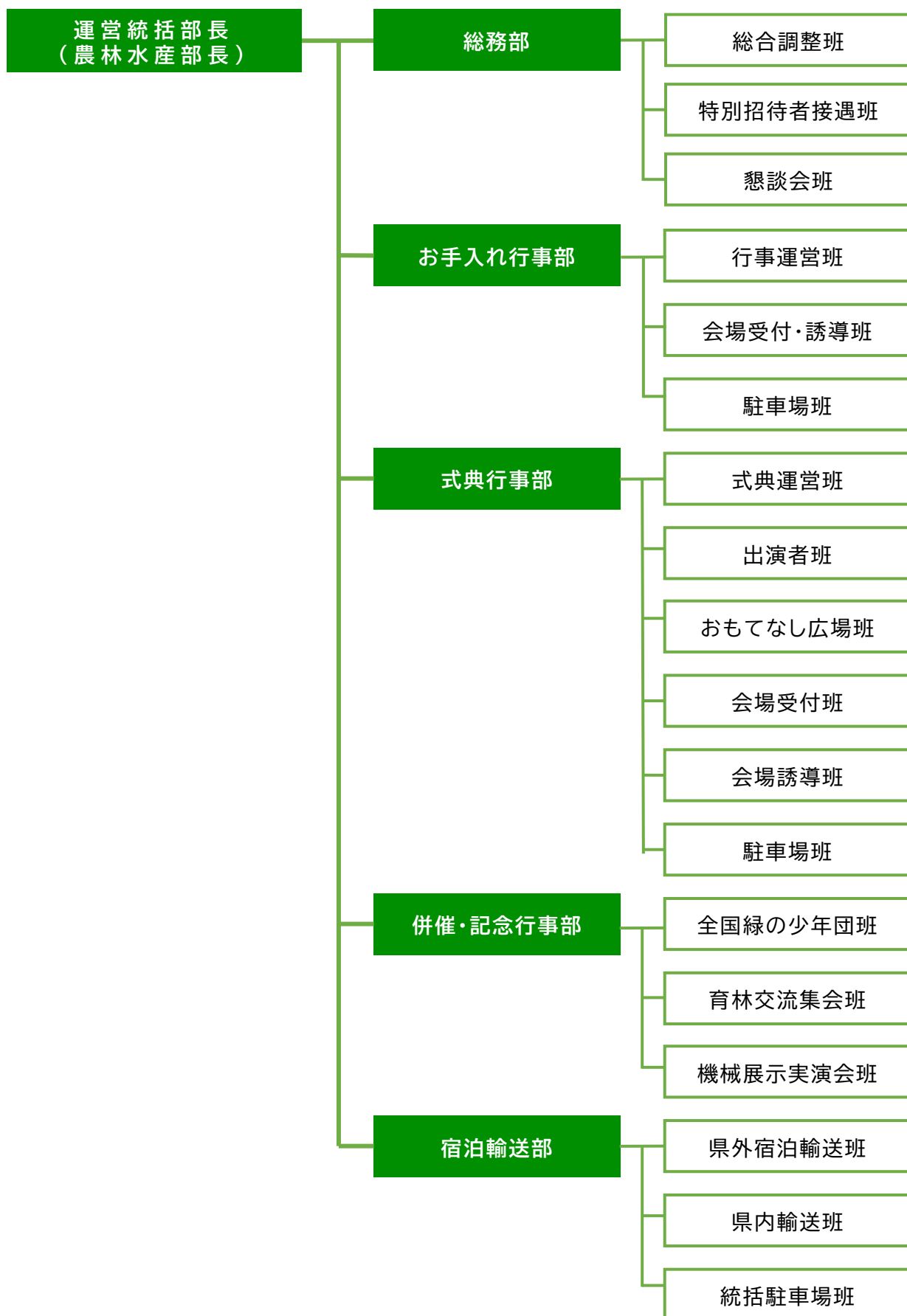
全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するため、「第49回全国育樹祭和歌山県実施本部」（以下「実施本部」という。）を設置しました。第49回全国育樹祭の各行事の運営については運営本部が行います。

また、実施本部員が自らの業務内容を把握できるよう各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

(1) 実施本部組織図



(2) 運営本部組織図



第7章 運営計画

(2) 運営本部業務分掌

部	班	所掌事務
総務部	総合調整班	1 運営本部の総括に関すること。 2 行事全体の進行管理に関すること。 3 運営本部内の他班に属さない事項に関すること。 4 報道関係者の案内及び調整に関すること。
	特別招待者接遇班	特別接遇者の接伴に関すること。
	懇談会班	懇談会の運営に関すること。
お手入れ行事部	行事運営班	1 お手入れ行事の進行管理に関すること。 2 緑の少年団、アトラクション出演者等の行動管理に関すること。 3 記念育樹に関すること。 4 会場内の医事衛生に関すること。
	会場受付・誘導班	1 お手入れ会場の受付に関すること。 2 お手入れ会場の案内誘導に関すること。 3 弁当の配布、給水所の運営に関すること。
	駐車場班	お手入れ会場の駐車場における車両整理に関すること。
式典行事部	式典運営班	1 式典行事の進行管理、調整に関すること。 2 表彰及び登壇者に関すること。
	出演者班	出演者の行動管理に関すること。
	おもてなし広場班	1 式典会場のおもてなし広場の運営に関すること。 2 式典会場の運営に関すること。
	会場受付班	1 式典会場の受付に関すること。 2 式典会場の入退場に係る安全対策及び会場内の整理に関すること。
	会場誘導班	1 式典会場の案内誘導に関すること。 2 式典参加者及び出演者の弁当に関すること。 3 式典会場内の医事衛生に関すること。
	駐車場班	式典会場駐車場における車両整理に関すること。
併催 ・記念行事部	全国緑の少年団班	全国緑の少年団活動発表大会及び交流集会の運営に関すること。
	育林交流集会班	育林交流集会の運営に関すること。
	機械展示実演会班	森林・林業・環境機械展示実演会の運営に関すること。
宿泊輸送部	県外宿泊輸送班	県外参加者の宿泊施設における案内誘導及び輸送バス等の運行管理に関すること。
	県内輸送班	県内参加者や実施本部員等の指定集合地における輸送バス等の運行管理及び案内誘導に関すること。
	統括駐車場班	1 宿泊輸送の総括に関すること。 2 特別接遇者の駐車場に関すること。

第7章 運営計画

3 参加者行動計画

(1) 11月7日(土) お手入れ行事・懇談会(歓迎レセプション)

区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者
車両	御乗用自動車	ハイヤー	バス等	バス等
午前	<お手入れ行事会場>			
午後		会場着	会場着	会場着
		育樹活動 ※特別待遇者のみ		
	御着			
	お手入れ行事			
	御発			
		会場発	会場発	会場発
		<懇談会(歓迎レセプション)会場>		
	会場着	会場着	会場着	
	御着			
懇談会(関係レセプション)				
	御発			
	会場発	会場発	会場発	

第7章 運営計画

3 参加者行動計画

(2) 11月8日(日) 式典行事

区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者
車両	御乗用自動車	ハイヤー	バス等	バス等
午前	<式典行事会場>			
		会場着	会場着	会場着
	御 着	プロローグ		
	式典行事			
	御 発	会場発	エピローグ	
午後	昼食（会場内）			
		会場発	会場発	会場発

4 宿泊計画

(1) 方針

全国育樹祭の参加者はシングルルーム(1名1室)の利用を強く希望する傾向にあります。会場近接の田辺市内および白浜町内において1名1室利用が可能な客室を最大限確保しますが、当該エリアは旅館やリゾートホテルが主体です。そのため、和歌山市内および海南市内のホテル群においてシングルルームを集中的に確保して、需要に応じた最適な配宿を行います。

プラン	宿泊地	一人部屋確保	1人あたり予算	式典移動時間
満足度重視	田辺・白浜	△(相部屋含)	★★★★★	◎(5~60分)
コスト重視	和歌山市・海南市	◎(全個室)	★★☆☆☆	△(70~90分)
バランス	属性別分宿	○	★★★★☆	混合

5 輸送計画

お手入れ行事当日(併催行事開催日)と式典行事当日、森林・林業・環境機械展示実演会開催日の3日間を中心に、バス・ハイヤーなどの借り上げ車両による輸送を実施します。

輸送にあたっては、各行事会場や宿泊場所の立地、参加者の利便性、輸送規模などを考慮し、会場によっては参加者が直接乗用車で来場できるようにするなど、最適な輸送方法を選定し経費削減に努めます。和歌山県警本部および関係機関等との緊密な連携により、警備・警護に不備の無いようにします。

(1) 運行管理体制

目的地までの輸送ルート、所要時間、道路状況等を反映した綿密な運行管理計画を策定します。

式典会場に「総合輸送本部」を設置し、借上車両の運行状況を一括で管理し、安全かつ円滑な運行管理体制を構築します。

(2) 駐車場・乗降場の誘導

必要な箇所に警備員や実施本部員等の人員やカラーコーン・コーンバーなどの安全資材を配置し、適切に車両を誘導します。

(3) 緊急時の対策

事前に非常時の連絡体制を整え、運転手やバスに添乗する実施本部員等に周知徹底します。また、交通事故など当日の急なトラブルに備え、警察・消防その他関係機関と十分な協議を行い、危機管理計画を策定します。

6 受付計画

(1) お手入れ行事・式典行事・懇談会(歓迎レセプション)

ア 宿泊する参加者

行事当日に宿泊施設等にて受付を行い、行事会場に到着後、手荷物検査を行います。

イ 宿泊しない参加者

県内各地に設置する指定集合地等にて受付を行い、行事会場に到着後、手荷物検査を行います。

(2) 懇談会

行事当日に会場施設にて受付と手荷物検査を行います。

(3) その他の行事

会場等に実施本部員等を配置し、参加者数に対して十分な受付ブースを用意して、受付・案内を行います。

また、セキュリティチェックが必要な場合は、確実な本人確認やセキュリティチェックを行いながらも、スムーズに受付できる体制を構築します。

7 警備計画

和歌山県警察及び関係機関との緊密な連携のもと、警衛及び警護について万全を期します。

ア 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と緊密に連携して警備を実施します。

イ 会場周辺に警備員や実施本部員などを配置し、警備や車両の交通整理、参加者の誘導に当たり、雑踏事故、交通事故、その他の事件事故防止に努めます。

ウ お手入れ行事会場、式典行事会場や懇談会会場等の入場ゲートでは、金属探知機による持ち物検査を実施します。

エ 会場に仮設物等を設置し撤去するまでの間、必要に応じて夜間警備員を配置するなど無許可者の侵入やいたずらの防止を図ります。

オ 行事当日は、会場内における禁止事項を定め、県警本部との連携のもと、治安の維持に努めます。

8 参加者サービス計画

式典行事会場におもてなし広場、湯茶提供コーナー等を設置し、参加者へのサービスに努めます。

(1) おもてなし広場・湯茶提供コーナー

おもてなし広場・湯茶提供コーナーを設置し、県産品等の展示や販売を行います。

(2) 記念品等

全国育樹祭への参加を記念し、和歌山県の特産品や紀州材を利用した記念品を贈呈します。

(3) 昼食

和歌山県産食材を使用した和歌山県を満喫できるメニューを提供します。

また、容器や包装資材も環境に配慮したものを使用します。

衛生管理を徹底して確実に納入できる体制を構築します。

9 消防・防災計画

消防、警察その他関係機関との緊密な連携のもと、南海トラフ地震臨時情報発表時におけるイベント開催ガイドライン(令和8年2月 和歌山県発行)を参考に、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

ア 火災、地震等の災害が発生した場合には、参加者の安全確保を最優先とした運営を行います。

イ 危機管理については、責任者を明確にするとともに、緊急事態等の発生に備え、対応マニュアルや避難計画等を準備し、実施本部員に周知徹底します。また、参加者へも事前に周知し、会場内でも継続的に注意を促します。

ウ 実施本部が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。

エ 会場内の主要施設及び火気取扱箇所には、消火器を設置し、防火指導を徹底します。

オ 会場内は、喫煙所を除いて全て禁煙とし、必要に応じて消火器を設置します。

カ 宿泊施設については、地元消防署等関係機関の協力を得て、安全対策に万全を期します。

10 救護・衛生計画

各会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生対策、ごみ処理やし尿処理等の環境衛生対策を取ります。

(1) 医療・救護

ア 行事当日及びリハーサルにおいて、傷病等の発生に備えるため、医療・救護体制を整えます。

イ 必要に応じて会場内に救護所を設置し、傷病者の医療・救護を行います。

ウ 救護所には、関係機関の協力を得て、看護師及び傷病者の手当に必要な医薬品・医療器具や休憩用ベッドを用意します。

エ 消防署や近隣医療機関の協力を得て、緊急時の搬送体制を整えます。

オ 会場や宿泊施設、輸送時において、傷病等が発生した場合、素早く適切に加療にあたるよう、医療・救護対応フローを作成します。

(2) 環境衛生対策

ア 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。

イ 食の安全を期すため弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供団体等への指導を行い、食品衛生管理を徹底します。

ウ 飲食等により発生する廃棄物は適切に処理を行い、会場及び周辺的环境美化に努めます。

エ 会場内にゴミ集積所を設置し、分別回収を行うとともに、係員による巡回清掃を行い、快適な環境づくりに努めます。

オ 会場内各所に設置する仮設トイレについても、巡回清掃及び確認を行い、清潔で使いやすい環境づくりを心掛けます。

11 緊急対応計画

各行事ごとに、非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

12 雨天時・荒天時対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、構成員の招集方法を定め、ガイドラインに基づき荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議(仮称)」を設置します。

(1) 判定会議の開催

ア 荒天時等(暴風・強風等)で行事を計画どおりに実施することに懸念が生じた場合は判定会議を実施し、お手入れ行事及び式典行事等の開催を判断します。

イ 開催の判断は、警報・注意報の発令や交通機関の運行状況等を参考に行います。

(2) 決定内容の通知について

ア 荒天等により中止とすることが決定された場合には、関係者に直ちに通知します。

イ 第49回全国育樹祭ホームページ(県HP)等により、情報提供を行います。

(3) 雨天時のお手入れ行事の開催

ア 雨天時のお手入れ行事については、傘の差し掛け等の雨天対策を講じて対応します。

(4) 判断基準

行事名	天候	対応	説明
お手入れ行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		必要な雨天対策をして開催します
	荒天	中止	屋外会場のため安全面を考慮して中止します
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		屋内会場のため開催します
	荒天		参加者の安全な輸送手段が確保できない場合は、プログラムの変更や規模の縮小、開催の中止など状況に応じて判断します

※巨大地震など緊急事態が発生した場合は、速やかに行事を中止します。

1 広報計画

(1) 広報

第49回全国育樹祭の開催理念や開催意義について広く普及、浸透を図り、開催気運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

ア ポスター原画等の活用

公募により決定した「大会テーマ」及び「ポスター原画」を効果的に活用し、「シンボルマーク」や「ロゴマーク」をデザインした広報物品を製作して、掲示や関係機関などへの配布を行います。

イ 各種イベントと連携した普及啓発

県内で開催する様々なイベントと連携しながら、県民に向けた積極的な情報発信と、参加・参画への呼びかけを行います。

ウ 広報媒体による普及啓発

広報誌や新聞、テレビ、SNS(インターネット)などの多様な広報媒体を活用した情報発信を積極的に行います。各種の広報物(リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど)を制作し、関係機関などに配布します。

(2) 記録

第49回全国育樹祭の開催記録として、記録誌や記録映像を制作します。

2 協賛計画

第49回全国育樹祭の開催理念に賛同する企業や団体などを対象に、資金や物品、役務の提供、広報・PRへの協力等の協賛参加者を広く募集します。

(1) 協賛の種類

- ア 金銭協賛: 育樹祭の準備及び運営等に要する金銭の提供
- イ 物品協賛: 育樹祭の準備及び運営等に要する物品の提供
- ウ 広報PR協賛: 育樹祭行事の広報及びPR活動への協力
- エ その他協賛: ア～ウの他、実行委員会会長が特に認めるもの

(2) 協賛の特典

- ア 式典行事プログラム・協賛者ボード等への掲載
- イ 記録誌への掲載
- ウ 育樹祭公式HP等への掲載
- エ 育樹祭公式ロゴマーク、シンボルマーク等の利用
- オ 式典行事への参加者枠優先確保
- カ 懇談会(歓迎レセプション)への参加者枠優先確保
- キ おもてなし広場での企業ブース出店枠優先確保
- ク 感謝状の授与
- ケ 記念誌の提供
- コ 記念品の授与

第9章 開催準備計画

1 リハーサル計画(お手入れ行事)

第49回全国育樹祭の式典運営をはじめ、開催に向けた準備を整えるため、各種練習会・研修会及びリハーサルを事前に実施し、総合調整を図ります。

(1) お手入れ行事 総合リハーサル

- ア 実施日:令和8年10月31日(土)
- イ 場 所:新庄総合公園
- ウ 内 容:お手入れ行事全般に関わるリハーサル

(2) お手入れ行事 当日リハーサル

- ア 実施日:令和8年11月7日(土) 午前
- イ 場 所:新庄総合公園
- ウ 内 容:お手入れ行事直前の通しリハーサル

2 リハーサル計画(式典行事)

(1) 式典補助員研修会

- ア 実施日:令和8年夏～秋(未定)
- イ 場 所:会議室等
- ウ 内 容:接遇の基本所作研修及び式典の登壇者誘導等のレクチャー

(2) 式典行事 リハーサル

- ア 実施日:令和8年10月3日(土)
- イ 場 所:白浜会館
- ウ 内 容:式典行事に関わるリハーサル(一部アトラクションを除く)

(3) 式典行事 総合リハーサル

- ア 実施日:令和8年11月1日(日)
- イ 場 所:白浜会館
- ウ 内 容:式典行事全般に関わるリハーサル

(4) 式典行事 前日リハーサル

- ア 実施日:令和8年11月7日(土)
- イ 場 所:白浜会館
- ウ 内 容:式典行事全般に関わるリハーサル

※その他、必要に応じて、適宜アトラクションの練習会を実施します。

第9章 開催準備計画

3 開催スケジュール

令和8年11月の開催に向け、記念行事の開催や会場の整備、リハーサルの実施など、計画的に準備を進めていきます。

年度	月	大会開催計画	リハーサル等	会場関係
令和7年度	5月	「わかやま森林と樹木の日」記念行事		お手入れ行事会場の整備等
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月	国民参加の森林(もり)づくりシンポジウム		
	12月			
	1月	実施本部設置		
	2月			
	3月	実施計画の決定・公表		
令和8年度	4月			仮設物の設置
	5月	一般参加者の募集		
	6月			
	7月			
	8月		各種練習会・研修会	
	9月			
	10月		式典行事リハーサル お手入れ行事 総合リハーサル	
	11月	11月7日 第49回全国育樹祭(お手入れ行事) 11月8日 第49回全国育樹祭(式典行事) 11月7日～9日 併催行事・記念行事	式典行事 前日 リハーサル お手入れ行事 当日 リハーサル	
	12月			
	1月			
	2月			
	3月	記念誌の発行		



第49回全国育樹祭実施計画

令和8年3月発行

編集・発行：第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会

連絡先：第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会事務局

(和歌山県 農林水産部 森林林業局 森林整備課 全国育樹祭推進室内)

和歌山市小松原通一丁目1番地

電話：073(441)2579